



そよかせ



CONTENTS

新任のご挨拶	2・3
今年の「活き息さわやかに過ごす会」は 皆さんで語り合いました	4
臨床検査科スタッフの取得資格紹介	5
特定看護師のご紹介	5
神経・筋疾患「政策医療ネットワーク」協議会	6
神経筋患者に対するお楽しみ嚙下	7
BLS研修始動しました!!	8
つくし園 20歳の集い	9
食事アンケート結果について 栄養管理室	10・11
外来診療担当医師一覧表	12

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。

人としての尊厳を重視した上で
専門医療（国の定める政策医療）に誇りを持ち、
地域の皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう、全力を尽くします。



新任のご挨拶



事務部長 頼本 真一

この度、令和5年4月1日付で四国がんセンターから事務部長として異動してまいりました。入職以来、愛媛、香川、高知、山口などで勤務してきましたが、岡山県で勤務するのは初めてになります。仕事も含め初めてのことばかりで若干の不安を抱えつつ出勤初日を迎えました。「晴れの国岡山」にふさわしい晴天の下、病院を囲む桜、病院から眺める風景の美しさは、思わず不安も忘れてしまうほどでした。

令和5年度は「ポストコロナ」という新しい時代の医療提供体制が求められ、地域の医療ニーズ、人材確保・育成などの課題と併せて病院の方向性を検討していかなければなりません。まさに病院の理念である「ゆるぎない信頼、心からの満足」が求められる時代であると感じています。今後、谷本院長を始め病院職員の皆様と一緒に、南岡山医療センターのさらなる発展を目指し尽力していきたいと思っております。

異動したばかりで至らない部分も多々あるかと思いますが、今後のご指導のほどよろしくお願いたします。



薬剤部長 西川 正直

この度、令和5年4月1日付で山口県の柳井医療センターより赴任してまいりました。岡山県での勤務は10年ぶりとなります。数日間、小高い丘の上からの壮大な景色と満開の桜が桜のじゅうたんへと変化していく素晴らしい光景と毎朝の小鳥のさえずりに心が癒されています。また、病院の近辺にはたくさんの公園があり散歩やジョギングに最適なコースがたくさんあり休日にもリフレッシュができそうです。院長先生の所信表明を拝聴し病院の方針を理解し気持ちも新たに薬剤部職員とともに、チーム医療の一員として貢献し、業務の効率化及び経費削減など病院経営にもお役にたてるよう取り組んでいこうと考えております。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



経営企画室長 西谷 将巳

この度、令和5年4月1日付で福山医療センターより赴任しました。南岡山医療センターは過去に3年間勤務しており、今回が2度目の勤務となります。以前勤務していた時の外来棟、病棟はなく、つくし病棟以外は新しく生まれ変わっていました。狭く暗かった外来棟は明るく綺麗で、以前とは考えられないくらい良い変化を感じました。

趣味はドライブです。大好きな城や温泉巡りをメインに、気の向くまま車を走らせています。普段はランニングをし、年齢に負けないように健康管理しています。

業務のほうでは初めての経営企画となります。微力ではございますが、病院の一員として頑張りますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。



副看護部長 渡邊 泰代

この度、令和5年4月1日付で香川県にあります四国こどもとおとなの医療センターより転勤してまいりました。桜が満開の南岡山医療センターに迎え入れていただき、期待と不安と緊張の初日でしたが、皆様の温かいご支援で何とかスタートを切ることができました。

病院の理念である「ゆるぎない信頼、心からの満足」を患者さんやご家族に持っていただくこと、また病院職員も互いに信頼できこの病院で働くことに満足が得られるよう、微力ながら自身の職責を果たしていきたいと思っております。

アフターコロナの今年度は、様々なことが大きく動く年であると考えます。皆様にご指導、ご助言をいただきながら取り組んでまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。



診療放射線技師長 東谷 秀憲

この度、令和5年4月1日付で香川県善通寺市にある四国こどもとおとなの医療センターより赴任しました。4年ぶりに南岡山医療センターに勤務することになり身の引き締まる思いであります。病院の理念でもある「ゆるぎない信頼、心からの満足」のもと、皆様に安心安全の検査体制を提供できる放射線科を目指し取り組んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



臨床検査技師長 藤田 圭二

この度、令和5年4月1日付で臨床検査技師長として勤務させていただくことになりました藤田圭二です。南岡山医療センターは初めての勤務になりますが、生まれも育ちも岡山の私にとって馴染み深く、当センターの一員になれたことは嬉しく思います。

これから“患者さんに優しく、臨床から頼られる臨床検査科”を目指して日々精進してまいります。微力ではございますが、皆様からのご指導・ご助言を賜りながら検査科スタッフと共に何事にも全力で取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願い致します。



理学療法士長 桑本 美由紀

この度、令和5年4月1日付で岡山医療センターより赴任してまいりました理学療法士長の桑本美由紀です。辞令交付の日は青空に映える桜を見て清々しい気持ちと同時に病院の理念である「ゆるぎない信頼、心からの満足」の下、身の引き締まる思いがいたしました。リハビリテーション科として各職種のブラッシュアップを図り、チーム医療の一員として専門医療や地域医療に貢献できるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

どうぞよろしくお願いたします



今年の「生き息さわやかに過ごす会」は 皆さんで語り合いました

地域医療連携室
医療相談係長 伊藤 明子

「生き息さわやかに過ごす会」は、慢性呼吸器疾患をもつ患者さんに、病気と上手に付き合いながら、家庭や地域で生き生き生活していただきたいという思いで毎年開催しています。新型コロナの影響で、令和4年10月に予定していた会の日程を変更することとなりましたが、令和5年3月18日土曜日に、無事開催することができました。

会の当日、午前中まで小雨が降り、皆さん来てくださるだろうかと心配していましたが、9名の患者さんと、ご家族、近隣のケアマネジャーさんを含めた12名の方が参加してくださいました。

今年度のテーマは「コロナ禍で慢性呼吸不全と上手につきあっていくために」とし、谷本院長・下岡理学療法士に講演を依頼しました。谷本院長の講演では、新型コロナウイルスの過去3年間の感染状況や、5類感染症に移行した後の対応などについてわかりやすく話をされ、下岡理学療法士の講演では、フレイル予防の必要性とその予防策を、実技を交えて参加者と職員と一緒に学びました。（*フレイル：年齢を重ねると誰でも感じる、心身が老い衰えた状態）

講演の後、コロナ禍での日常生活について参加者によるグループワークを行い、各グループには看護師、コメディカルも2名参加させていただきました。グループワークの中では、「基礎疾患があるので外出するのが怖い」とコロナ禍で外出を控えがちになっている状況や、「在宅酸素を導入し、家族に迷惑をかけていると思う」「外出するとき、酸素吸入の準備が大変」という在宅酸素を利用している方の気持ちも率直に語られ、不安な思いも共有し、参加者の方からもしっかり話をすることができた、というお声もいただきました。

昨年のこの会は、新型コロナ感染防止の必要から、講演のみで、グループワークは行いませんでした。今回、参加者同士で話しておられる様子を拝見し、スタッフ一同、嬉しい気持ちでした。

令和5年度も、呼吸ケア教室など、患者さん向けの勉強会を開催する予定です。どうぞお気軽にご参加ください。



臨床検査科スタッフの取得資格紹介



現在、臨床検査科には超音波検査士が3名在籍しています。今回はその超音波検査士という資格について紹介します。

これは日本超音波医学会から超音波検査に必要な知識、技能を認定された者に与えられる資格で循環器・消化器・血管・体表臓器などの専門領域に分かれており、それぞれに認定資格があります。これらの資格を取得するには、臨床検査技師・看護師・准看護師・診療放射線技師の何れかの免許を有することがまず必須条件で、さらに経験を積み、認定試験に合格したらようやく手に入れることができます。資格を取得した後も5年毎に更新があり、知識のアップデート、超音波医学ならびに医療の向上を図るべく日々精進しています。



当院の超音波検査は“患者さんに優しく、臨床からのニーズに応える検査”を心がけています。



特定看護師のご紹介

特定行為研修修了者
看護部つくし2病棟
副看護師長 坂井 千怜
(呼吸器関連3区分6行為)

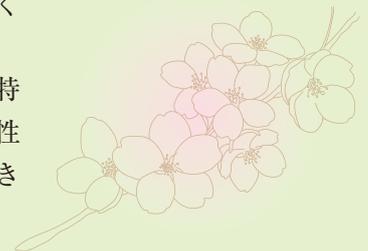


私は令和2年6月～12月までの約半年間、独立行政法人国立病院機構四国おとなとこどもの医療センターで、看護師特定行為研修の呼吸器関連6行為3区分「経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整」、「気管カニューレの交換」、「侵襲的陽圧換気の設定の変更」、「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」、「人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整」、「人工呼吸器からの離脱」を受講しました。

特定行為研修修了した看護師は患者さんの状態を見極めることでタイムリーな対応が可能になります。また「治療」「生活」の両面から患者さんを支えることができます。

当院には神経筋難病、重症心身障がい児(者)の方々が入院し、その多くの患者さんが呼吸管理を必要としています。いつも患者さんのそばにいる看護師だからこそ気づく異変に、いち早く対応することで合併症を防ぎたいと考えています。

そして患者さんが安全で安心して療養生活を送ることができるよう、特定行為研修で学んだ知識を活かして呼吸管理を実践し、患者さんの個性に合わせて、安全に実践できるよう、日々知識・技術の向上に励んでいきたいと考えています。



神経・筋疾患「政策医療ネットワーク」協議会

～中国四国ブロック研究発表会に参加して～

1階病棟
看護師長 長光 淑恵

神経・筋疾患の多くは未だ治療法が確立されておらず慢性の進行性疾患であり、中国四国地方では日々の治療やケアに役立てるよう、年間計画で担当施設を決め研修会や研究成果を発表する機会を設け、施設間での交流を図っています。

2023年2月には、神経・筋疾患「政策医療ネットワーク」協議会 中国四国ブロック研究発表会」が開催されました。9施設の参加があり、他施設での様々な職種の方の日頃の実践や成果に関する発表を聴くことができました。

当院からは14名が参加し、2名が発表を行いました。2階西病棟からは療養介助員が発表し、1階病棟からは看護師が『コロナ禍における長期療養者・家族の思いに寄り添う～限られた時間を夫婦で過ごすための外泊支援～』というテーマで、患者さん・ご家族の希望に寄り添うために受け持ち看護師が中心となってチームできることを考え、2泊3日の外泊の実現に向けた取り組みについての発表を行いました。

今回の関わりを通し、患者さんを取り巻く全ての職種が情報を共有し専門性を発揮しながら、患者さんにとっての最善をそれぞれの立場で考え、協働することの大切さを改めて実感しました。私たちはこれからも神経・筋疾患で長期療養を強いられる患者さんやご家族の立場にたって、患者さん・ご家族の思いを知り、その思いを叶えるためにできることを考え、行動できるチームでありたいと思います。

5月初旬には約3年間に及ぶ感染症対策を中心とした病院の環境も少しずつ変化していくと思います。この約3年という年月の中で経験したことを忘れず、患者さんの安全と安楽を守り、患者さんとご家族が何気ない日常の時間を共有できるようスタッフ一同努めてまいります。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。



オンラインでの発表会でした。

神経筋患者に対するお楽しみ嚥下

—最後まで口から食べる楽しみを支える—

リハビリテーション科
作業療法士長 小林 理英

筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病などで知られている神経筋疾患は、少しずつ身体機能が低下していくとともに、嚥下能力（飲み込みの力）が低下していき口から食べることが難しくなっていきます。疾患によっては呼吸機能が衰えるため、気管切開や人工呼吸器を装着した場合も装着前に比べて食べ物を飲み込むことが難しくなります。食事が難しくなってくると選択肢の一つとして経管栄養を行う場合がありますが、当院では残された嚥下能力を評価することで、経管栄養と併用して可能な限り口から食べ物や飲み物を味わう“お楽しみ嚥下”ができるよう支援しています。今回はどのような形で評価を行い、お楽しみとしての経口摂取を行っているのかをご紹介します。

評価

主治医から指示を受けて、言語聴覚士が嚥下評価を実施します。

- ・ 覚醒状態など全身状態の把握
- ・ 発声発語器官（口唇・舌・下顎等）の機能評価
- ・ 着色水テスト（気管切開をされている方が液体を飲めるかどうか評価）
- ・ 検査医とともに嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を実施 等



<嚥下造影検査の様子>

お楽しみ方法の検討と実施内容

患者様が何を楽しまたいのかを伺い、嚥下機能にあったお楽しみ方法を主治医と相談して選択・決定していきます。疾患の進行とともに体力が低下していくため、嚥下機能だけでなく食べるための体力があるかどうか併せて検討していきます。また、適宜患者様の嚥下機能評価を行い、その時点での機能にあった方法で行えているかを確認しています。

お楽しみ嚥下の一例

○固形物を摂取できる 昼のみ食事（食形態：ソフト食）、プリンやヨーグルトを摂取



○液体を摂取できる とろみをつけたジュースやうどんの汁・ラーメンのスープを少量ずつ摂取



スープだけ

○唾液を飲み込むことができる

ジュースやお酒を綿棒などに浸して舌尖でなめる、棒つき飴をなめる、駄菓子に付いているソースをなめる



上記にご紹介しているのは一例ではありますが、患者様のニーズに対応しQOLに繋がるよう主治医や看護師、栄養士等と連携して支援を行っています。

BLS研修始動しました!!



医療安全管理室 医療安全係長 大島 美貴
教育研修室教育担当看護師長 難波 美香

当院のBLS研修は、看護部新採用者の研修会や現場での機会教育で行ってきましたが、令和4年度からは全職員の一次救命処置の基本的知識と技術の習得を目指し、医療安全管理室・教育研修室が共同で、当院で働く全職員を対象に月に1回のBLS研修を開始しました。場所はリハビリテーション室で、1グループ5名以内とし、急変患者の発見から、応援依頼、緊急放送の演習、胸骨圧迫、AED装着までの一連の流れを参加者全員がシミュレーションできるよう研修を行っています。胸骨圧迫時は、速さを覚えてもらうために音楽を流し、リズムに合わせて実施できるようにしています。9月から開始し、現在約90名の職員が研修を修了しています。全職員が研修参加し、一次救命処置の基本的知識と技術を習得し、院内で発生した急変患者に対応できるようにしていきたいと考えています。

【研修会に参加した声】

- ・音楽があつて楽しくできた。
- ・座学だけでなく、他の人のシミュレーションを見て、自分の方法が合っているか確認できた。
- ・一次救命処置の一連の流れを講義と実践で学べてよかった。
- ・AEDだけでなくドクターハリーの呼び方を覚えることができた。

修了者は名札に修了認定
シールを貼っています

誰かきてください！
ドクターハリー※
お願いします。

※病院内で医師等を緊急招集する
時に使われる用語



薬剤部と医療ソーシャルワーカーで
AEDの装着風景

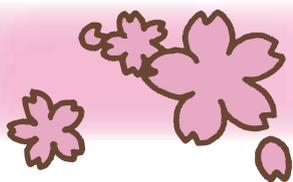


事務職員とリハビリ職員で胸骨圧迫練習中!!



正しく胸骨圧迫できているか
グループメンバーが確認します!

BLS研修会を通して、全職員で安心・安全な医療を提供してまいります。



つくし園 20歳の集い



つくし園
保育士 難波 貴志

南岡山医療センターでは、重症心身障害児者の支援として通所・入所・短期入所の福祉サービスを提供しています。重症心身障害とは、重度の知的障害と重度の身体障害が重複している方を言い、現在子どもから大人まで200名以上の方が、当院のいずれかのサービスをご利用されています。

その中の1つ、通所施設「つくし園」で令和5年1月20日「20歳の集い」の行事が開催されました。例年「成人式」として行っていたものを成人年齢引き下げに伴い名称変更したもので、新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら3年ぶりに来賓を招いての開催となりました。



今年度、つくし園では3名の方が20歳を迎えられました。

院長式辞の後、来賓の方から御祝辞を頂きました。今回早島町長の中川真寿男様、倉敷東ライオンズクラブ会長の岡田輝夫様をお招きし、20歳を迎えられた方々に心のコもったお祝いの言葉を頂きました。また当日所用にて参加の難しかった早島支援学校長の平松裕史様からも、ビデオメッセージにてお祝いの言葉を頂きました。3名の方からの温かい言葉を皆さん落ち着いた表情でしっかりと聞いていました。

その後式は進み、メインの映像作品「20歳の歩み」を全員で視聴しました。生まれてからこれまでのこと。入院したり、退院したり、初めて学校に通ったり、初めてつくし園に来られたり…。ご本人様とご家族の歩まれた20年と言う月日をみんなで振り返りました。いろいろな思い出がたくさん詰まった映像は、会場全体をあたたかい感動で包み込んでくれました。

倉敷東ライオンズクラブ様やつくし園から花束やアルバムを贈呈し、最後はご家族からの挨拶。改めてこの20年と言う日々を思い返しなが、20歳を迎えられた喜びとこれまで関わってこられた方々への感謝の言葉を交えた挨拶をされていました。いろいろな方々に支えられ、たくさんの人に愛されながら育ったご本人様。限られた時間の挨拶の中にも、その「ありがとう」「がんばったよ」「またよろしくね」という気持ちが溢れていました。

最後は写真のように記念撮影。来賓の方だけでなく、他の利用者様や職員とも和気藹々とした雰囲気の中撮影を行い、緊張のほぐれた様子で楽しまれました。

皆さん、20歳おめでとうございます！これからも生きることを楽しんで、人と会ったりいろんなことに挑戦したりして、人生を色濃く染め上げていきましょう！



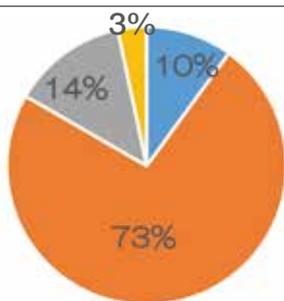
食事アンケート結果について

栄養管理室 管理栄養士 森田 捺美

当院では、年に3回、入院患者の皆様には病院食についてのアンケートを実施しています。今回は令和5年2月8日に行った食事アンケートの集計結果をご報告します。対象者は一般病棟入院患者30名です。

主食の評価

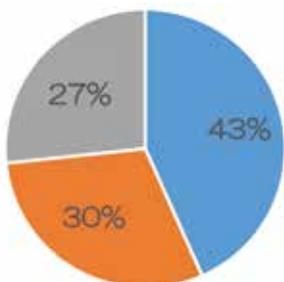
- 柔らかすぎる
- ちょうど良い
- 硬すぎる
- その他



- ・主食の硬さについては、73%の方に概ね満足していただけています。
- ・「硬い」と回答された4名のうち3名は米飯を摂取されていました。
- ・その他では「日によって硬さが違う」という意見がありました。

主菜の評価

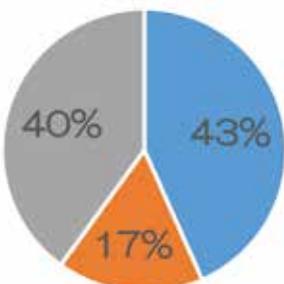
- おいしい
- 普通
- おいしくない



- ・主菜については、73%の方が「おいしい」「普通」と回答されました。
- ・「おいしくない」と回答された理由は、「味が薄い」「加熱のしすぎ」「同じような献立が多い」などがありました。
- ・「魚がパサパサしている」「主菜の量が少ない」などの意見もありました。

副菜の評価

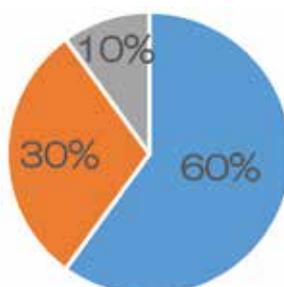
- おいしい
- 普通
- おいしくない



- ・副菜については、60%の方が「おいしい」「普通」と回答されました。
- ・「おいしくない」と回答された理由は、「味が薄い」「水気や量が多い」でした。

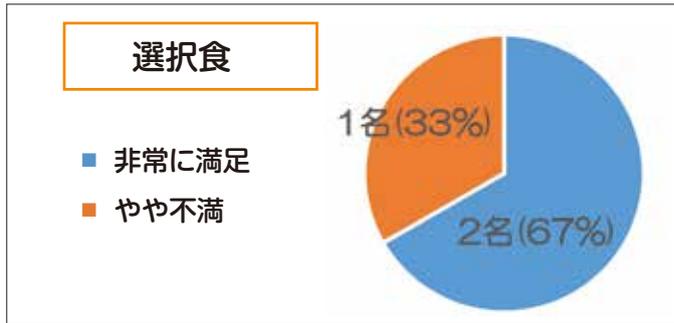
副菜の彩り

- 良い
- 普通
- 悪い

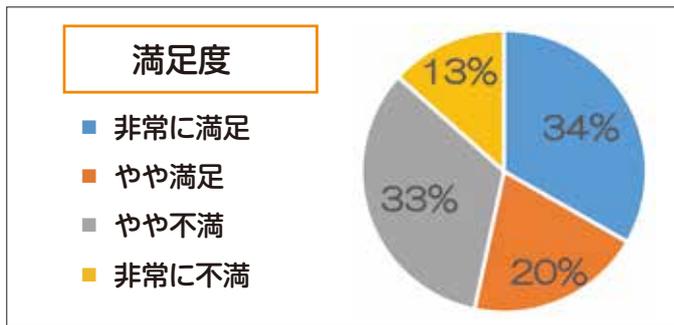


- ・副菜の彩りについては、90%の方が「良い」「普通」と回答され、概ね良い評価をいただきました。

当院では、食事制限がない常菜を食べられている方を対象に、昼食と夕食の1日2回選択食を行っています。通常の食事代に加えて50円いただき、寿司や牛丼など特別な食事を選択できます。



- ・選択食では3名中2名の方に満足していただきました。
- ・「やや不満」の理由には「魚料理が多い」という意見がありました。



- ・患者満足度は「非常に満足」「やや満足」を合わせて54%と、前回9月のアンケート(73%)から減少しました。調理法や食材料の高騰に合わせた献立の工夫を検討していきます。
- ・病院食に不満を感じている方からは「好きなものが食べられない」などの意見もありました。

今回の結果を参考にし、皆様に喜んでいただける食事を提供できるよう、献立や調理法などを工夫していきたいと思います。ご協力ありがとうございました。



COOKING RECIPE

春キャベツを用いた減塩レシピを紹介します。酢やレモンなどの柑橘類を使うことで薄味でもおいしく食べることができます。

春キャベツのさっぱり和え



材料(2人分)

- キャベツ 1/10 玉(100g)
- もやし 1/2 袋(100g)
- かにかまぼこ 2 本(20g)
- 酢 小さじ 2
- 砂糖 小さじ 2
- レモン汁 大さじ 1

A

作り方

- ① キャベツは0.5cm幅に細切りにする。
- ② 耐熱容器に①ともやしを入れ、500Wで2分30秒加熱する。
- ③ 水を切り、粗熱がとれたら、ほぐしたかにかまぼこを入れAと和える。

栄養成分 (1人前)

エネルギー量：42kcal、たんぱく質：2.7g、塩分：0.2g



外来診療担当医師一覧表

休診日：土・日・祝日

年末年始(12/29～1/3)

但し、急患の方はこの限りではありません。

受付時間 8:30～11:30 (予約外の方)
8:30～予約時間 (予約の方)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
一般内科	初診・再診	8:45～12:00	木村 五郎	藤原 努	石賀 充典	藤井 誠	下西 惇
	再診		-	-	藤原 努	-	-
循環器内科 (生活習慣病外来)	初診・再診	8:45～12:00	富田 純子	-	-	富田 純子	富田 純子
呼吸器内科	初診・再診	8:45～12:00	谷本 安	谷本 安	-	谷本 安	木村 五郎
			藤井 誠	木村 五郎	-	下西 惇	藤井 誠
			石賀 充典	石賀 充典	板野 純子	-	-
			板野 純子	板野 純子	-	-	-
再診	13:30～17:00	-	-	木村 五郎	-	-	
脳神経内科	初診・再診	8:45～12:00	田邊 康之	坂井 研一 (もの忘れ)	麓 直浩	原口 俊	逸見 祥司
	再診		-	田邊 康之	-	坂井 研一	-
消化器内科	初診・再診	8:45～12:00	-	-	平野 淳	平野 淳	-
皮膚科	初診・再診	8:45～12:00	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高
	再診	第1・3月曜 15:30～16:30	藤原 愉高 (受付16:15まで)	-	-	-	-
		第2・4・5月曜 15:30～17:00	藤原 愉高 (受付16:30まで)	-	-	-	-
再診(予約)	16:00～17:00	-	-	-	藤原 愉高	-	
耳鼻咽喉科	初診・再診	8:45～12:00	-	-	-	-	村井 綾
整形外科	初診・再診	8:45～12:00	藤田 寧子	藤田 寧子	-	藤田 寧子	藤田 寧子 (再診予約のみ)
リハビリテーション科 (摂食嚥下専門)	初診・再診	13:00～14:00	-	谷本 安 (予約のみ)	-	-	-
小児科	初診・再診	8:45～12:00	遠藤 文香	小児科医師	産賀 温恵	吉永 治美	水内 秀次
小児神経科	初診(予約) 再診	8:45～12:00	吉永 治美	吉永 治美	-	井上 美智子	遠藤 文香
		13:30～15:30	-	吉永 治美	遠藤 文香 (14:00～)	吉永 治美	-
		15:30～17:00	井上 美智子 (2・4・5週)	-	遠藤 文香 (～16:00)	井上 美智子	遠藤 文香
アレルギー	初診(内科)	10:00～11:00	-	-	谷本 安	-	-
	再診(皮膚科)	8:45～12:00	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高
	初診(予約)・再診 (内科)	14:00～16:00	谷本 安・木村 五郎	-	-	-	-
	初診(予約)(小児科)	14:30～15:30	水内 秀次	-	-	水内 秀次	-
	再診(小児科)	15:30～17:00		-	-	水内 秀次	水内 秀次
再診(皮膚科)	15:30～17:00	藤原 愉高	-	-	藤原 愉高 (16:00～)	-	
喘息外来	再診	14:00～16:00	-	-	-	谷本 安	-
呼吸不全専門	初診・再診	10:00～11:00	-	-	-	河田 典子	-
		13:30～15:00	-	-	-	-	-
睡眠時無呼吸	初診	9:30～10:00	-	石賀 充典	-	-	-
	初診・再診	11:00～12:00	-	-	-	-	谷本 安
禁煙外来	初診・再診	13:30～16:00	-	-	-	藤井 誠	-
間質性肺炎外来	初診	10:00～11:00	-	-	-	-	谷本 安・板野 純子
小児肥満外来	再診	8:45～12:00	水内 秀次 (～11:00)	-	-	-	水内 秀次
	初診(予約)	14:30～15:30	水内 秀次	-	-	水内 秀次	-
	再診	15:30～17:00		-	-	水内 秀次	水内 秀次
歯科	初診・再診	8:45～12:00	小野 瀬里奈	山路 公造	-	大原 直子	小野 瀬里奈
	再診	13:30～17:00		-	-	-	-
乳幼児健診 予防接種	乳幼児健診	14:30～15:00	-	-	担当医	-	-
	予防接種	15:00～15:30	-	-	担当医	-	-

紹介状をお持ちの方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。
(予約無しで当日に紹介状をご持参される場合、お待ちいただくことがあります)
初診(予約)を受診の方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。

病診連携室
086-482-3031



**独立行政法人国立病院機構
南岡山医療センター**

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話 (086) 482-1121 (代表)
FAX (086) 482-3883
病診連携室 FAX (086) 482-3051
休日・時間外に FAX を送られる場合は事前に
代表電話へご連絡ください。
<https://minamiokayama.hosp.go.jp/>



